

自転車、道

大気は全ての静物と同様にそこに置かれている
自転車を走らせる
失語症のうたうたいは木々を巡り歩く
横切る猫
明日のこと、明後日のこと
大気もまた静物と見える
梢を潜り抜け、空は動かない

ランボーは暴力的な色彩言語を発明した
僕は新たな地平を見出した
ささやかな
あらゆる存在のひとつひとつを認識する
人々はなぜそれらを無視し、次々と捨ててゆくのか
あらゆる存在のひとつひとつを認識する
その向こうにあるものを見るのだ

時間への祈り
この世界には淡々とした哀しみがある
拡張するものはなにひとつない
消去されてゆく凹凸

曲線的な
ランダムな
そして無数に散らばる通奏低音

世界を覆うヴェール
その表面には柔毛がなびいている
時間の波がそれをなびかせる

僕は自転車を走らせる
僕は新たな地平を眺めた

そのような道

風が泳ぐ

(2001.9.21)